




# Dell Command | Configure

バージョン **3.1.2** リリースノート



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2009 - 2016 Dell Inc. All rights reserved. この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell、および Dell のロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2016 - 08

Rev. A0X

# 目次

リリースの種類と定義.....	5
バージョン.....	5
リリース日.....	5
前のバージョン.....	5
<b>重要.....</b>	<b>6</b>
<b>影響を受けるプラットフォーム.....</b>	<b>7</b>
<b>対応オペレーティングシステム.....</b>	<b>8</b>
<b>本リリースの新機能.....</b>	<b>9</b>
<b>既知の問題.....</b>	<b>10</b>
既知の問題：コマンドラインインタフェース.....	10
問題：オプション：--enabledevice および --disabledevice が機能しない.....	10
問題：Windows 7 がデジタル署名の有効性を認識しません.....	10
問題の説明：CCTK 1.0 からアップグレードできない.....	10
問題：BIOS インタフェースが見つかりません.....	10
問題の説明：.ini ファイルの infile または outfile オプションを使用しないでください。.....	10
問題の説明：Dell Command   Configure はアセットセット操作では、シングルバイト文字のみサポートします。.....	10
問題：Optiplex 740 の問題.....	10
問題：Dell Precision ワークステーション T3500 の turbomode オプションに間違った値が表示される.....	11
問題：Latitude XT2 で引数を busratio オプションの最大に設定できない.....	11
問題：OptiPlex 760 でパスワードの文字数が許可されない.....	11
問題：起動デバイスの数が正しくない.....	11
問題：OptiPlex 760 では、システムパスワードが設定されている場合、BIOS がセットアップパスワードの設定を許可しない.....	11
問題：CCTK 1.1 から 1.2.1 へのアップグレードで古いユーザズガイドが保持される.....	11
問題：TPM 関連のトークンを別々に変更できる.....	11
問題：依存オプションが、レガシーオプション ROM と安全起動のための UEFI モードで設定された通りに機能しない.....	11
問題：OROM UI 保護で OROM キーボードアクセスも設定される.....	12
問題：Blinkpsu1led と Blinkpsu2led が .ini ファイルまたは SCE にない.....	12
問題：advsm オプションがステータスをその他として表示する.....	12
問題：アドバンストバッテリー充電とピークシフト充電オプションが無効と表示する.....	12
問題：アドバンストシステム管理オプションの温度プローブが不明として表示される.....	12
問題：アドバンストシステム管理のオプションをサポートする一部のプラットフォームで、メモリセンサー 2 の温度プローブが現在のステータスを正常ではなく非クリティカルとして表示する.....	12

問題：アドバンスドシステム管理オプションをサポートする一部のプラットフォームで、冷却装置の非クリティカルな上限値を設定すると、CLI はアクションに失敗したことを示しているが、同じ設定は成功している.....	13
問題：Autoon minutes (autoonmn) が .ini ファイルの「編集禁止」セクションに一覧表示される.....	13
問題：.ini ファイル /SCE で ASM ( advsm ) BIOS オプションを設定することができない.....	13
ここにリファレンスのタイトルを入力してください.....	13
問題：Optiplex 990 および Latitude D630 で GUI を起動すると時間がかかる.....	13
問題：Dell Precision ワークステーション M4400 で、起動順序オプションが起動デバイスの正しい番号を表示しない場合がある.....	13
問題：システム .xml で予期しないエラーが発生する.....	13
問題：予期しないエラー.....	13
問題：マルチプラットフォームに X マークが表示される.....	14
問題：.cctk をダブルクリックして GUI を開くと設定が表示されない.....	14
問題：Internet Explorer バージョン 7 以前ではフィードバックリンクが機能しない.....	14
既知の問題：SCE.....	14
問題：データマネージャサービスが停止する.....	14
<b>インストールの必要条件.....</b>	<b>15</b>
Windows のインストールの前提条件.....	15
Linux のインストールの前提条件.....	15
<b>インストール、アップグレード、およびアンインストール手順.....</b>	<b>16</b>
<b>インストールおよび設定の注意.....</b>	<b>17</b>
Windows インストールの場合.....	17
問題：Dell Command   Configure 3.1.2 が CCTK の前のバージョンにダウングレードされる可能性があり、好ましくない状況につながる場合があります。.....	17
Linux インストールの場合.....	17
問題：RHEL 6 用の command_configure-linux-3.1.0-251.tar.gz ファイルを抽出すると、2 つの RPM ファイル以外に予備のファイルが 1 つ表示される.....	17
問題：HAPI RPM のアンインストール中に、ファイルがないことを示す警告メッセージが表示される.....	17
<b>デルへのお問い合わせ.....</b>	<b>18</b>

# リリースの種類と定義

Dell Command | Configure (元は Client Configuration Toolkit または CCTK) は、Optiplex、Latitude、Venue Pro タブレット、XPS、および Dell Precision ワークステーションなどの Dell クライアントシステムに BIOS 設定機能を提供するパッケージソフトウェアです。グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) またはコマンドラインインターフェース (CLI) を使用して、クライアントシステムを設定することができます。

Windows および Red Hat Enterprise Linux 環境、または Microsoft Windows プレインストール環境 (Windows PE) であっても Dell Command | Configure を使用することができます。Dell Command | Configure は Ubuntu 16.04 Desktop、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、および Windows 10 オペレーティングシステムでサポートされます。

## バージョン

3.1.2

## リリース日

2016 年 8 月

## 前のバージョン

3.1

# 重要

推奨事項：デルは、次にスケジュールされているアップデートサイクル中にこのアップデートを適用することをお勧めします。アップデートには機能の強化、またはシステムソフトウェアの最新性と他のシステムモジュール（ファームウェア、BIOS、ドライバおよびソフトウェア）との互換性の維持につながる変更が含まれます。

# 影響を受けるプラットフォーム

- Optiplex
- Latitude
- Venue Pro タブレット
- XPS
- Dell Precision ワークステーション
- XPS 9343 および XPS 9350
- Dell Embedded Box PC 3000\5000 シリーズ

# 対応オペレーティングシステム


Dell Command | Configure 3.1.2 は、次のオペレーティングシステムをサポートします。

- Microsoft Windows 10 Core (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 10 Pro (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 10 Enterprise (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 Enterprise (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 Professional (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 8 Enterprise (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 8 Professional (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 7 Professional SP1 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Microsoft Windows 7 Ultimate SP1 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 10 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット) (Windows PE 10.0)
- Windows 8.1 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット) (Windows PE 5.0)
- Windows 8 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット) (Windows PE 4.0)
- Windows 7 SP1 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット) (Windows PE 3.1)
- Windows 7 Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット) (Windows PE 3.0)
- Windows Vista Pre-installation Environment (32 ビットおよび 64 ビット) (Windows PE 2.0)
- Dell Precision ワークステーション用 Red Hat Enterprise Linux 7.0 クライアントバージョン (64 ビット)
- Dell Precision ワークステーション用 Red Hat Enterprise Linux 6.4 クライアントバージョン 6.0 (64 ビット)
- Dell Precision ワークステーション用 Red Hat Enterprise Linux Client 6.2 クライアントバージョン (64 ビット)
- Dell Embedded Box PC 3000\5000 シリーズ用 Ubuntu Desktop 16.04 (64 ビット)

# 本リリースの新機能

本リリースの新機能は以下をサポートします。

- 新しいオペレーティングシステム : Windows 7 Professional FES、Windows 10 Enterprise LTSC、Ubuntu Desktop 16.04
- 新しいプラットフォーム : Dell Embedded Box PC 3000 シリーズ、および Dell Embedded Box PC 5000 シリーズ
- Thunderbolt が無効の場合は、Dell Type-C Thunderbolt ドックが機能するように設定します。 --alwaysallowdell docks オプションを参照してください。
- BIOS リカバリオプションを設定します。 --biosrecovery オプションを参照してください。
- オペレーティングシステムの起動が失敗するしきい値を設定します。 --bootfaithreshold オプションを参照してください。
- コントローラエリアネットワーク (CAN) バスを設定します。 --canbus オプションを参照してください。
- I/O モジュールを設定します。 --iomodule オプションを参照してください。
- Intel Software Guard Extension (SGX) プロセッサが確保するメモリの割り当てサイズを構成します。 --enclavememorysize オプションを参照してください。
- オンボードのサウンドデバイスを設定します。 --onboardsounddevice オプションを参照してください。
- システムで使用可能なコア数を設定します。 --processorcorecount オプションを参照してください。
- --serial1 および --serial2 オプションで追加可能な値。
- 3 番目のシリアルポートを設定します。 --serial3 オプションを参照してください。
- 4 番目のシリアルポートを設定します。 --serial4 オプションを参照してください。
- 5 番目のシリアルポートを設定します。 --serial5 オプションを参照してください。
- 6 番目のシリアルポートを設定します。 --serial6 オプションを参照してください。
- システムが Thunderbolt デバイスから起動するように設定します。 --thunderboltbootsupport オプションを参照してください。
- Thunderbolt デバイス、または PCIe デバイスによって提供される OROM およびプリブート UEFI ドライバを設定します。 --thunderboltprebootmodule オプションを参照してください。
- タッチスクリーンを設定します。 --touchscreen オプションを参照してください。
- TPM 2.0 の測定に使用するハッシュアルゴリズムを設定します。 --tpmhashalgo オプションを参照してください。
- UEFI カプセルアップデートパッケージによる BIOS アップデートを設定します。 --ueficapule オプションを参照してください。
- ドッキング接続が行われた場合にシステムがウェイクアップするように設定します。 --wakeondock オプションを参照してください。
- 警告またはエラーが検出されたときに、システムが起動を続行する、または一時停止するように設定します。 --warningsanderrors オプションを参照してください。
- 特定地域用の WLAN のコードを設定します。 --wlanregioncode オプションを参照してください。

 **メモ:** CLI オプションに関する詳細については、[dell.com/dellclientcommandssuitemanuals](https://dell.com/dellclientcommandssuitemanuals) で入手できる『*Dell Command | Configure Command Line Interface Reference Guide*』(Dell Command | Configure コマンドラインインタフェースリファレンスガイド) を参照してください。

# 既知の問題

## 既知の問題：コマンドラインインタフェース

### 問題：オプション：--enabledevice および --disabledevice が機能しない

説明：--enabledevice および --disabledevice のオプションが UEFI 対応システムで動作しない場合があります。

解決策：解決策はありません。

 メモ：この問題は BIOS の次回のバージョンで対処されます。

### 問題：Windows 7 がデジタル署名の有効性を認識しません

説明：システムがインターネットに接続していない場合、Windows 7 は Dell Command | Configure インストールファイルのデジタル署名の有効性を認識しません。

解決策：システムをインターネットに接続し、デジタル署名を検証します。

### 問題の説明：CCTK 1.0 からアップグレードできない

解決策：CCTK 1.0 をアンインストールして、最新のバージョンをインストールします。

### 問題：BIOS インタフェースが見つかりません

説明：Dell Command | Configure の実行中に、次のエラーメッセージが表示される場合があります：**BIOS インタフェースが見つかりません。**

解決策：HAPI フォルダで利用可能な hapiuninstall.bat スクリプトを使用して HAPI をアンインストールし、同じフォルダで利用可能な hapiinstall.bat スクリプトを使用して再度インストールします。

問題の説明：.ini ファイルの infile または outfile オプションを使用しないでください。

問題の説明：Dell Command | Configure はアセットセット操作では、シングルバイト文字のみをサポートします。

解決策：ユーザーが異なるロケールを所有している場合は、アセットオプションを使用する前にキーボードのレイアウトを英語に変更します。

### 問題：Optiplex 740 の問題

説明：以下は OptiPlex 740 に関する既知の問題です：

- フロッピーオプションが機能しない。
- Usbemu オプションが機能しない。
- アセット、minsizeofcontigmem、bioscharacteristics、completioncode オプションが機能しない場合があります。

### 問題 : Dell Precision ワークステーション T3500 の turbomode オプションに間違った値が表示される

説明 : Dell Precision ワークステーション T3500 で、Dell Command | Configure が **turbomode** オプションの正しい値を表示しません。オプションは **Enable (有効)** に設定されているが、Dell Command | Configure では **Disable (無効)** として表示されます。

### 問題 : Latitude XT2 で引数を busratio オプションの最大に設定できない

説明 : Latitude XT2 では、**busratio** オプションの場合、引数を最大に設定することはできません。


### 問題 : OptiPlex 760 でパスワードの文字数が許可されない

説明 : OptiPlex 760 で、Dell Command | Configure はセットアップパスワードとシステムパスワードを BIOS の画面に記載の文字数より少ない文字数で設定できます。

### 問題 : 起動デバイスの数が正しくない

説明 : Dell Precision ワークステーション M4400 で、**起動順序** オプションが起動デバイスの正しい数を表示しない場合があります。

### 問題 : OptiPlex 760 では、システムパスワードが設定されている場合、BIOS がセットアップパスワードの設定を許可しない

 **メモ:** Dell Command | Configure はそのようなシナリオではエラーメッセージを提供しません。この問題は、BIOS の次のバージョンで対処されます。

### 問題 : CCTK 1.1 から 1.2.1 へのアップグレードで古いユーザズガイドが保持される

説明 : CCTK 1.1 を 1.2.1 にアップグレードすると、CCTK には 1.2.1 ユーザズガイドへのリンクと一緒に前のバージョンのユーザズガイドが含まれます。

### 問題 : TPM 関連のトークンを別々に変更できる

説明 : Dell Command | Configure は、各種 TPM PPI オプション間の依存関係を制御しません。たとえば、TPM が **オン** でない場合でも、Dell Command | Configure から **TPM PPI ACPI** オプションを変更することができます。


 **メモ:** これによる BIOS への悪影響はありません。

### 問題 : 依存オプションが、レガシーオプション ROM と安全起動のための UEFI モードで設定された通りに機能しない

説明 :

- 安全起動がオンの場合、Dell Command | Configure はレガシーオプション ROM を有効にできます。
- 起動モードがレガシーの場合、Dell Command | Configure はレガシーオプション ROM を無効にできません。
- レガシーオプション ROM が有効で起動モードが UEFI の場合、Dell Command | Configure は安全起動を有効にできます。


- 安全起動が無効の場合、Dell Command | Configure は安全起動を列挙できません。

 **メモ:** これによる BIOS への悪影響はありません。この問題は、BIOS の次回のバージョンで対処されます。

### 問題 : OROM UI 保護で OROM キーボードアクセスも設定される

説明 : **OROM UI 保護** で次の Dell プラットフォームの **OROM キーボードアクセス** が設定されます。

- Latitude E6x30、E5x30
- Dell Precision モバイル M4700、M4500
- Dell Precision ワークステーション T1650
- Optiplex 9010、7010

 **メモ:** このオプションでの BIOS 設定はプラットフォームの前の世代で機能します。この問題は、BIOS の次回のバージョンで対処されます。

### 問題 : Blinkpsu1led と Blinkpsu2led が .ini ファイルまたは SCE にない

説明 : Blinkpsu1led と Blinkpsu2led が enable-only トークンで数秒間しか有効にならない場合、Blinkpsu1led と Blinkpsu2led は .ini ファイルまたは SCE に含まれません。これらのトークンを GUI を使用して変更することはできません。

### 問題 : advsm オプションがステータスをその他として表示する

説明 : ファンのいずれかが動作しない場合、advsm オプションはステータスを **その他** として表示します。

### 問題 : アドバンストバッテリー充電とピークシフト充電オプションが無効と表示する

説明 : アドバンストバッテリー充電オプションをサポートしないプラットフォームでは、advbatterychargecfg オプションが列挙されている場合、システムはオプションを無効として表示します。  
ピークシフト充電 オプションをサポートしないプラットフォームでは、peakshiftcfg オプションが列挙されている場合、システムはオプションを **無効** として表示します。

### 問題 : アドバンストシステム管理オプションの温度プローブが不明として表示される

説明 : アドバンストシステム管理 オプションをサポートする一部のプラットフォームで、すべてのセンサーの温度プローブが **不明** として表示されます。

 **メモ:** この問題は BIOS の次回のバージョンで対処されます。

### 問題 : アドバンストシステム管理のオプションをサポートする一部のプラットフォームで、メモリセンサー 2 の温度プローブが現在のステータスを正常ではなく非クリティカルとして表示する

 **メモ:** この問題は BIOS の次回のバージョンで対処されます。

**問題：**アドバンスドシステム管理オプションをサポートする一部のプラットフォームで、冷却装置の非クリティカルな上限値を設定すると、CLI はアクションに失敗したことを示しているが、同じ設定は成功している

**問題：**Autoon minutes (autoonmn) が .ini ファイルの「編集禁止」セクションに一覧表示される

**説明：**CLI からエクスポートされた .ini ファイルには、編集禁止 セクションに autoonmn オプションが含まれます。ただし、.ini ファイルのようなファイルをインポートした場合は、このオプションを設定できます。


**問題：**.ini ファイル /SCE で ASM ( advsm ) BIOS オプションを設定することができない

**説明：**.ini ファイル、または SCE を使用して ASM (advsm) オプションを設定している間に、セットアップパスワードやシステムパスワードを設定または変更しないでください。

ここにリファレンスのタイトルを入力してください

**問題：**Optiplex 990 および Latitude D630 で GUI を起動すると時間がかかる

**説明：**Dell Command | Configure GUI を OptiPlex 990 および Latitude D630 から管理者権限なしで起動すると、GUI 画面を表示するのに時間がかかります。

 **メモ：**これによりシステムリソースと Dell Command | Configure の機能が妨害されることはありません

**問題：**Dell Precision ワークステーション M4400 で、起動順序オプションが起動デバイスの正しい番号を表示しない場合がある

**問題：**システム .xml で予期しないエラーが発生する

**説明：**Dell Command | Configure GUI は、テキスト入力フィールド用の印刷可能文字のみをサポートします。BIOS に印刷できない文字が含まれる場合は、GUI がロードに失敗し次のエラーメッセージを表示する場合があります：**Unexpected Error at System.xml**。(システム .xml で予期しないエラーが発生しました)。

**解決策：**アセットのような BIOS オプション、および propowntag 値に印刷できない文字が含まれていないか確認してください。

**問題：**予期しないエラー

**説明：**NET ライブラリが正常にロードされなかった場合、まれに SCE のエクスト中に、次のエラーメッセージが表示されます：**Unexpected Error** (予期しないエラー)。

 **メモ：**これは、Dell Command | Configure の機能には影響しません。

**解決策：**SCE を再度エクスポートしてください。

## 問題：マルチプラットフォームに X マークが表示される

説明：ピークシフト、irsttimer、およびアドバンストバッテリー充電 オプションのような機能をサポートするシステムでは、検証後にマルチプラットフォームがマルチプラットフォームパッケージに X マークを表示します。

## 問題：.cctk をダブルクリックして GUI を開くと設定が表示されない

説明：.cctk ファイルをダブルクリックして Dell Command | Configure GUI を開いた場合、アプリケーションのファイルの設定は表示されませんが、**Open a Saved Package** (保存されたパッケージを開く) タブの .cctk または .ini ファイルを開くと、ファイルの設定が表示されます。

## 問題：Internet Explorer バージョン 7 以前ではフィードバックリンクが機能しない

説明：GUI のフィードバックリンクは、Internet Explorer バージョン 8 以降でのみ機能します。

解決策：Internet Explorer 8 以降にアップグレードしてください。

## 既知の問題：SCE

### 問題：データマネージャサービスが停止する


説明：SCE が 64 ビット Windows OS 搭載のシステムに適用され、Dell Command | Monitor を実行している場合に、Dell Command | Monitor データマネージャサービスが停止します。

解決策：システムを再起動して、Dell Command | Monitor データマネージャサービスを開始します。BIOS 設定の多くにシステムの再起動が必要であるため、再起動することで BIOS 設定が正しく適用されていることも確認します。

# インストールの必要条件

## Windows のインストールの前提条件

- The Dell Command | Configure インストールファイル、Systems-Management\_Application\_54W6D\_WN32\_3.1.2\_A00.exe、Dell Update Package として利用可能。
- Dell Command | Configure をインストールするシステムの管理者特権。
- GUI をインストールする Microsoft .NET 4.0 GUI。

 **メモ:** Windows Vista 以降のオペレーティングの場合は、Dell Command | Configure GUI が正常に機能するように Microsoft .NET Framework 4.0 オプションが Windows 機能のオン / オフ切替え画面で選択されていることを確認します。

## Linux のインストールの前提条件

- Dell Command | Configure インストールファイル、command-configure-linux-3.1.0-<build number>.tar.gz
- Dell Command | Configure インストールファイルと一緒に提供されている RPM

# インストール、アップグレード、およびアンインストール手順

Dell Command | Configure のインストール、アンインストール、およびアップグレードに関する詳細については、[dell.com/dellclientcommandsuite/manuals](https://dell.com/dellclientcommandsuite/manuals) の Dell Command | Configure インストールガイドを参照してください。

# インストールおよび設定の注意

## Windows インストールの場合

**問題:** Dell Command | Configure 3.1.2 が CCTK の前のバージョンにダウングレードされる可能性があり、好ましくない状況につながる場合があります。

解決方法: Dell Command | 3.1.2 が既にインストールされている場合は、前のバージョンのインストーラを実行しないでください。

## Linux インストールの場合


**問題:** RHEL 6 用の `command_configure-linux-3.1.0-251.tar.gz` ファイルを抽出すると、2つの RPM ファイル以外に予備のファイルが 1つ表示される

そのファイルを無視します。

**問題:** HAPI RPM のアンインストール中に、ファイルがないことを示す警告メッセージが表示される

そのメッセージを無視します。

# デルへのお問い合わせ

 **メモ:** デルでは、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。

デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [dell.com/contactdell](https://dell.com/contactdell) にアクセスします。
2. インタラクティブな世界地図からお住まいの国または地域を選択します。地域を選択すると、選択した地域内の国が表示されます。
3. 選択した国の下にある適切な言語を選択します。
4. ビジネスセグメントを選択します。選択したビジネスセグメントのメインサポートページが表示されます。
5. 必要に応じて、適切なオプションを選択します。

 **メモ:** Dell システムをご購入いただいた場合は、サービスタグを要求される場合があります。